



Invitation to Indonesia
～ インドネシアへようこそ ～

Ultimate in Culture & Heritage

究極の文化と遺産



Ministry of Culture and Tourism
of Republic of Indonesia

インドネシア共和国文化観光省
Ministry of Culture & Tourism

Jl. Medan Merdeka Barat No. 17, Jakarta 10110
Tel: (62-21) 383 8102, 383 8436 ■ Fax: (62-21) 385 4558, 386 7569
Website: www.indonesiatourism.go.id ■ www.budpar.go.id

www.budpar.go.id

■ www.my-indonesia.info ■ www.indonesiatourism.go.


INDONESIA
The Ultimate in Diversity
— 究極の多様性 —





インドネシア共和国文化観光大臣
ジェロ・ワチック

親愛なる皆様、

私は、私達の美しい島々で出会うことが出来る「究極の文化」を体験していただきたま、皆様に是非インドネシアにおいていただきますよう、お説明申し上げます。

何世紀もの間仏教、キリスト教、ヒンドゥー教、そしてイスラム教は、それぞれが残した考古学と芸術のみならず、私達がインドネシア人としての文化的価値観と現代のアイデンティティーを形成するのに重要な役割を果たして来ています。

私達の1万7千以上の島々には、わかっているだけでも300以上の民族が住んでいます。それぞれの民族は、訪問客の皆様ご自身に体験していただける特別なものをもっています。例えばそれは、莊重なユネスコ認定の世界遺産であるジャワのボロブドゥール遺跡であり、または、スラウェシ島トラジャでのユニークな葬式の儀式や、それともバリ島においてお客様を楽しませる毎日のお供え物や行列であるなど、インドネシアは不思議な万華鏡をご用意しているのです。

インドネシアの文化の不思議さをご自身で発見されたとき、皆様は行く先々で盛大なる温かいおもてなしを受けておられることに間違いないのです！

ジェロ・ワチック



Contents

多様性のある豊かな歴史が、エキサイティングな体験の無限の機会を与えてくれます。



06 - 07

ジャス&ファッショント

音楽とファッショントが協調して爆発的な興奮を生み出しています。

08 - 09

モニュメント

偉大な業績、英雄、神話等を賞賛する国家威信を印象的に表現しています。

10 - 11

ダンス

伝統的なジャワダンスのゆっくりとした優雅さから、バリ島のケチャックダンスのように活動的なダンスなど、インドネシアには色々なダンスのスタイルが存在します。

12 - 13

寺院

華美、エキゾチック、神秘的、そして魅惑的なインドネシアの寺院は、色々な形で信仰の多様性を表現しています。

14 - 15

宮殿

それぞれの王やサルタン、そして大統領の家でもあるインドネシア各地の宮殿は、伝統と権力のシンボルなのです。

16 - 17

生きている文化

ユニークな伝統、多様な文化、そして何世紀もの間受け継がれている生活様式が、この広大な群島国の人々の新しい理解をもたらします。

18 - 19

アート&フェスティバル

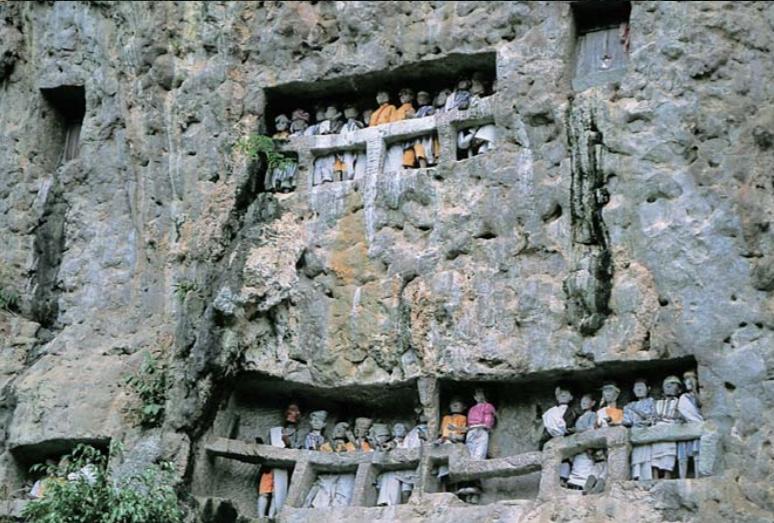
インドネシアの多彩な面を表現する豊かな色彩、珍しい音の響き、活気あるイベントが世界の注目を浴びています。



Ultimate in Culture and Heritage

究極の文化と遺産

世界で最大の群島国インドネシアには、多様な文化が育まれています。そのすべてを紹介することはとてもできませんので、ここではそのごく一部をご紹介します。たいていの国では、遺産と文化は博物館やギャラリーに納められていますが、インドネシアでは、その反対で、多様で数多くの民族が、今でも彼ら独自の文化とともに生活しています！



オペラ「イ・ラ・ガリゴ」のパフォーマンス（写真提供：Ridha Kusumabrata）

これは、儀式や行列が毎日のように見られるバリの観光スポットでは当たり前のことかもしれません。近代的都市の郊外のあちこちで今でも実際にそれらを見る事ができます。そこでは、中核をなす民族の伝統がいまだに繁栄しています。文化に関心をお持ちでしたら、インドネシアは、絶対にお薦めです。

この小冊子では、もっとも重要な遺産と文化の概要を説明していますので、その内容を簡単に「味わう」ことができます！

まずご紹介するのは、驚くべきボロブドゥール寺院とプランバナン寺院ですが、国内には、マジャパヒト王国や、スリウイジャヤ王国の時代、あるいはそれ以前にまで遡る寺院と歴史的建造物が至るところにあります！その次は、現存するジョグジャカルタとソロのサルタン宮殿と、バリのタンパクシリンの古い池です。

この驚くべき歴史的文化遺産と隣り合わせに近代的なライフスタイルが栄え、あらゆる人々を包み込んでいます。

ジャカルタ国際ジャワ・ジャズ・フェスティバル(Jakarta International Java Jazz Festival)には、世界中から数百人のアーティストが集い、熱狂的な聴衆の前で演奏しました。国内の大都市では、毎週、世界的に名前が知られたインドネシア人デザイナーが参加するファッショショーンショーが開催されています。



the internationally acclaimed I La Galigo which was an Indonesian inspired, and performed, musical and theatrical tour de force.

インドネシアからインスピレーションを得て演じられ、世界中で激賞された音楽劇の傑作、イ・ラ・ガリゴ(I La Galigo)



伝統的なジャワ舞踊

インドネシアの新旧アーティストが、世界中で多数のファンを獲得した力強い芸術的な場面を忘れてはなりません。

毎日上演されていないとはいってもないのは、インドネシアからインスピレーションを得て世界中で激賞されたイ・ラ・ガリゴ(I La Galigo)です。これはインスピレーションを得て演じられる音楽劇の傑作です。

the astonishing art world that exists throughout Indonesia, the amazing variety of dance, and a glimpse at the festivals !

インドネシアの驚くべき芸術世界、びっくりするほどバラエティに富んだダンス、フェスティバルの一場面

文化のアクティブな側面については、インドネシアの驚くべき芸術世界のごく一部、驚くほどバラエティに富んだダンス、さらに、フェスティバルの一場面をご紹介します。

最後に「生きている文化」とでも呼ぶことができる4つの文化をご紹介します。そこでは、人々は、今でもトラジャ、イリアン、カリマンタンおよびジャワの数世紀にも及ぶ古くからの伝統にしたがって生活しています。インドネシアを「生きている」博物館と形容するのは言い過ぎかもしれません、訪れる価値のある、信じられないほど魅力的な場所があちこちにあります。



Java Jazz Festival, Jakarta

Jazz & Fashion ジャズとファッション

「気分がいい！」。2005年度のジャカルタ国際ジャワ・ジャズ・フェスティバル(JIJJF)の花形スターでもあり、ソウルミュージックの名付け親でもあるジェイムズ・ブラウンは、数万人の聴衆の前でそう叫びました。この気分のよさは、今年度のフェスティバルに参加したミュージシャン達の口からも聞かれました。

ヴィニー・ヴァレンティノ、エリック・ベネイ、デイヴ・コース、パティ・オースティンおよびボブ・ジェイムズが、皆、同じ感情を表現しました。彼らは、素晴らしい受容的なジャカルタの聴衆の前で、本当に演奏を楽しんだのです。ダニエル・サフレカは、彼のパフォーマンスに対する聴衆の拍手に応え「みんな、なんて素晴らしいんだ！今夜は眠れないかもしれない！」とさえ言いました。

JIJJFは、オランダのノースシー・ジャズフェスティバルには及ばないかもしれませんし、ましてや米国のモントレーや、ニューポートのジャズフェスティバルには開催実績的にも及びませんが、JIJJFは、若いとはいえ、世界で最大かつ最良のミュージックフェスティバルの一つになる可能性をすでに

Indra Lesmana, Java Jazz Festival, Jakarta



国立中央博物館にて（ジャカルタ）

実証し、万華鏡のようなジャズ界の一部として確実に認知されてきています。

JIJJFはトップクオリティのミュージックパフォーマンスを演じ、ジャズに対する理解と評価を高めることによってジャズ人気を高めようとする単なるチャレンジではありません。

西洋音楽にインドネシアの人々を惹きつけたのは、ポップでもロックでもなく、ジャズだというのも面白いですが、ジャカルタを訪れるトップクラスの「ボーイバンド」とポップアーティストは、熱狂的な歓迎を受けます。

But it is Indonesians who dominate the fashion scene with a world class selection of established and aspiring designers

一方、一流の定評があるデザイナー達の世界的セレクションによるファッションシーンを支配しているのは、インドネシア人です。イワン・ティルタ、セバスチャン・ガナワンおよびハリー・ダルソノなどの著名人は、世界中にファンがいますが、ゲア・スカサやオビンなどの民族的スペシャリストは、信じられないほど多様な文化をインスピレーションとして利用しています。

ジャカルタでは、1週間の間にファッションショーが開催されることはほとんどありませんが、バリのファッションウィークは、神々の島のデザイナー達の注目を集めます。

Monuments

モニュメント

ジャワ島の大半の市や町の中心部には「アルンアルン」と呼ばれる素晴らしいオープンスクエアがあり、そこでは市民の儀式が行われることがあります。島では、これらの広場は、大きな古木があるため多様な形式を取っていますが、そのような空間との共存は単なる時間の問題でした。大型建造物が建設され、あらゆる人が称賛するようになったのはそれから間もなくのことでした。

これらの大型構造物の中では、広大な庭園を見下ろすジャカルタのモナスほど目立ち、壮観なものはありません。モナスは、インドネシアの初代大統領によって自由と独立の象徴として建造され、基壇は博物館になっており、ジオラマはオランダとの独立闘争を表しています。火炎は50kgの純金で覆われていると言われています！

ここは首都の文化的中心地を一巡りするには格好の出発点です。近くに国立博物館、大統領官邸、壮麗なイスティクラル・モスク、さらに数多くの魅力的な建造物があるからです。

バリ島では、全体的に人工的とはいえ、それでも信じられないほどの畏敬の念を抱かせる環境の中で、ごく新しいモニュメントが建造されています。

バリで、以前からサーファーに人気のあったエリアは、島の南端部のブキット（丘陵）半島です。この石灰岩の台地の西側がウルワトゥ、東側がヌサドゥアです。ヌサドゥアの郊外では、最大の建設プロジェクト、GWK（マンダラ・ガルーダ・ヴィシヌ・クンチャナ / Mandala Garuda Wisnu Kencana）が実施され、石灰岩を削り取ってカルチュラルパークが建造されています。GWKはカルチャーセンターおよびイベントパークとして設計された民間投資プロジェクトです。

半人半鳥のガルーダの像、ヴィシヌ像は、現在高さが23メートルですが、GWKの計画では、金メッキされた146メートルのヴィシヌが空を飛ぶガルーダに跨り、11階建てのレジャー複合施設の最上階に立てられることになります。複合施設はまだ完成していませんが、一回りするのには、ドリンクを飲んだり芸術品を鑑賞したりしながら約1時間かかります。庭園の大きさとそのために講じられてきた取り組みに圧倒されることでしょう。像まで到る中央セクションは、巨大な石灰岩を削り取った莊厳な通路になっています。

独立記念塔（ジャカルタ）





スラウェシの伝統舞踊



バリの仮面舞踊劇「トベン」



Dance ダンス

ダンスは個人やグループの解釈を通して、他の文化的表現よりも、民族の伝統的生活と魂を伝えます。

世界中の伝統的ダンスは人々の信仰を映し出していますが、ここインドネシアには無限の選択肢があります。

演劇とダンスはバリの文化の重要な部分を占めています。バリのダンスは世界中で知られており、バリ人自身もダンスを大切にしています。誕生日、結婚式および宗教的儀式などはすべて演劇を上演する機会であり、ダンスはバリ地域と分かちがたく結びついています。観光客向けの商業演劇は、現在、バリのいくつかの場所で日常的に上演されていますが、ダンスの宗教的重要性と雰囲気は、もちろん、実際の宗教的儀式とは異なります。

ケチャは、幾つかの理由で他のバリのダンスとは異なっています。第一に、音楽の伴奏がありません。ガムランは使用されません。リズムは「モンキー」コーラスが担当します。歌のボリズムは「ケチャ」(Ke-chak)の名前を唱えることによって取られます。

ブラック・マジックが優勢になると村は危機に陥り、健全なコミュニティの正常なバランスを取り戻すため広範囲にわたる清めの儀式が必要になります。演劇も、供物や祈祷や悪魔祓いなどによって、害を及ぼす力に対する抵抗力を強化し村を清めるための手段の一つなのです。

例えば、注目に値するバロンとランダが登場する象徴的な演劇があります。バロンは長い湾曲した尻尾のある神秘的な創造物で、正義およびホワイト・マジックを連想させる肯定的表現、人類の守護神、高貴な太陽の栄光および善靈を表現しています。

ジャワのダンスは、途方もなく華やかで最上級の美しい芸術です。美しいダンス、エレガントなダンサー、カラフルな衣装、魔法のようなガムラン音楽、王宮のブンドボと呼ばれるステージは、比類ないアートパフォーマンスの完璧な組み合わせです。8世紀から10世紀のマタラム王国のダンスの動きは、ボロブドゥール寺院やプランバナン寺院に彫刻されたダンスの動きと同じだと思われます。

ブドヨは、9人の女性ダンサーが踊る神聖な宫廷ダンスです。ダンサーはすべて、肉体的にも精神的にも穢れのない状態でなければなりません。これはマタラム王国の最初の支配者、第2代パネンバハン・スノバティと力強く美しい女神 - 南太平洋の女王、カンジェン・ラトゥ・キドゥルとの出会いを表現する神話的ダンスです。ガムランの伴奏は、海風の声とその他の自然の声を表しています。

神秘思想について学んだ人々の前では、ダンスの中で第10番目の「目に見えない」ダンサーが現れます。このダンサーはとても美しいプリンセスで、圧倒されるほどエレガントにダンスを踊ると解説されます。ブドヨダンスは聖なるダンスであり、サマディ(瞑想)の間に、9つの人体の孔を閉じ、あらゆる悪しき欲望を断つことによって、瞑想者が達成することができる最高の悟りを象徴していると言われています。

これらのダンスは、半島で実演されている、動きが激しく靈感に溢れたダンスのごく一例しかありません。何処であろうとダンスの公演のお知らせを聞いたら、ためらわぬでチケットを購入してください。

ジャワのラーマヤナ舞踊



Temples 寺院

インドネシアを訪れる人々が発見する特徴の一つは、驚くほど数多くの宗教的モニュメントです。世界中からの崇拝を集めると、モスクおよび教会の場所は、常にとておきの呼び物として観光客を魅了する場所であり、ここインドネシアには、イタリア、フランスおよび英国の壯麗な大聖堂に匹敵するモニュメントが数多くあります。

イスラム教は、数多くのモスクに見られるようにほぼインドネシア全土で優勢な宗教ですが、大半のモスクは比較的新しく、比類ない寺院やモニュメントを備えているのは古くからの宗教であるヒンドゥー教や仏教です。

恐らくもっともよく知られているのはボロブドゥールで、ここには大乗仏教のストゥーパがあります。これは地球上で最大の仏教モニュメントです。このモニュメントは、ジョグジャカルタの北西40kmのところに位置する中部ジャワ州にあります。西暦750年から850年の間に、シャイレンドラ王朝のジャワ人支配者によって建造されました。このモニュメントの名称は、元々はブハラ・ブドゥフル(Bhara Beduhur)で、昔のジャワ語で「丘の上の寺院」を意味していると言われています。

ボロブドゥールは単一の大きなストゥーパとして建造され、上から見ると巨大な曼荼羅の形をしています。基礎は四角形で、一辺がそれぞれ118メートルです。9階建てで、下の6階が四角形、上の3階が円形になっています。当時の仏教思想家が概念化した宇宙の地図だと言われています。上層階では、72の小さなストゥーパが一つの大きな中央部のストゥーパを取り囲んでいます。各ストゥーパは、多数の装飾用の穴があけられた美しい形状をしています。穴が明けられた奥の内側には、仏陀像が鎮座しています。

ボロブドゥールは今でも祈りと巡礼の場所です。巡礼者は各階を時計方向に7回巡回します。最上階のストゥーパは、様々なポーズの仏陀像を収納しています。地元の伝承によると、ストゥーパの穴から特定の仏陀の指や足に触ると幸福になるとされています。

研究者達は、この大きなモニュメントは、実際には読み書きのできない仏教徒の巨大な教科書ではないかと考えています。仏教徒達はこのモニュメントを巡礼し、釈迦如来の人生と中心的教義を表現したレリーフで飾られた壁の間を巡回しました。

ボロブドゥールの近く、ジョグジャカルタの東側のボロハルジョ村にはプランバナン大寺院が建っています。

プランバナン寺院は、ヒンドゥー教の寺院群であり、ロロジョングラン寺院とも呼ばれています。プランバナンはこの地域の名前、ロロジョングランは寺院の実際の名称です。

この大寺院は同心配置された3つの広場を備え、それぞれの広場はゲートで連絡されています。外側広場には寺院はあり



タマン・アユン寺院（バリ）



プランバナン（中部ジャワ）

According to local folklore, touching the finger and toe of a particular Buddha through the holes in the stupa wall brings good luck.

地元の伝承によると、ストゥーパの穴から特定の仏陀の指や足に触ると幸福になるとされています。



ボロブドゥール寺院（中部ジャワ）



ベサキ寺院（バリ）

ません。中央広場には、224のペルワラ寺院が4列に並んでいます。最初の列は68の寺院から構成され、その後に第二の列(60寺院)、第三の列(52寺院)および第四の列(44寺院)が続いています。寺院は、小さい寺院ほど訪問者に際立った印象を与えるように配置されています。

ジャワのヒンドゥー教徒たちがプランバナンを建造し定住した、バリに隣接する島に移動すると、昔からその島が「神の島」と呼ばれる由来となった数多くの寺院が見られます。

バリのアグン山の斜面高處には、ベサキ寺院が建てられ、バリのヒンドゥー教の総本山と呼ばれています。ベサキ寺院は島内の約11,000もあるヒンドゥー教寺院の最大の寺院であり、その35の聖堂とホールには、毎年バリ全域から多数の帰依者が参拝に訪れます。

この寺院は、バリでは紀元前にまで遡る考えられています。紀元前のバリのヒンドゥー教徒達は、ナーガ・ブスキアンと呼ばれる竜神が、バリで最も高いこの山に住んでいると考えていました。しかしながら、11世紀初頭、バリが王国でなくなった時にベサキは国家寺院となりました。その後国家寺院としての形態を変えながらも、今日でも政府からの援助を受けています。

大半のバリの寺院同様、ベサキ寺院は閉鎖的な建造物ではなく大部分が開放されています。中庭には多数の神々に捧げられた祭壇と聖堂が建てられています。これらの神々はただ単に寺院を護っているだけではありません。バリの人々は決められた日に神々が寺院を訪れると言じていて、その日を祝祭し、神々を讃える(供養する)のです。バリのあらゆる寺院のうち6つの寺院、ベサキ寺院(Pura Besakih)、ルンブゥヤン・ルフール寺院(Pura Lempuyang Luhur)、グワラワ寺院(Pura Gua Lawah)、バトゥカル寺院(Pura Batukaru)、ブセリンジャガ寺院(Pura Pusering Jagat)およびウルワトゥ寺院(Pura Uluwatu)は、「極めて神聖な」寺院です。この6つの寺院のうち、ベサキ寺院がもっとも高位に位置付けられています。標高約900メートルのところに建設されているからではなく、バリの人々にとってもっとも聖なるものであるからです。ベサキ寺院は、島内で唯一、いかなる階級にも、いかなるカーストにも属さず、あらゆるバリ・ヒンドゥー教徒が参拝することができる寺院です。

宗教的にはベサキ寺院ほど重要ではありませんが、美しい庭園を意味する「タマン・アユン」と呼ばれ驚くほど美しいタマン・アユン寺院は、デンパサールの西18km、メンギウィ村に位置しており、文字どおりバリでもっとも美しい寺院の一つです。荘厳な配置の中庭と周囲の堀は、メンギウィの王、イ・グスティ・アグン・アノムによって1634年に建造されました。

タマン・アユンには、王家の代々の聖堂と偉大な神々に捧げられた聖堂があり、メンギウィ王国の重要な寺院になっています。(伝統的なサカ暦による)210日ごとのクリオン・ムダングジヤの火曜日には、地元のすべての住民が寺院に集まり、参拝し、寺院の記念祭を祝います。



ジョグジャカルタの王宮（クラトン）

Palaces

宮殿

王族とサルタンの邸宅、権力と権勢の中心、共同体と王朝の象徴である宮殿は、俗界の中心として宗教的建造物に匹敵します。嘗てはサルタン、王族および皇族の支配する領地が群島全体に広がっていましたが、オランダの植民地支配が島の覇権を握るにつれて、彼らは徐々に権力を失うことになりました。

現存するジョグジャカルタのサルタンの領地は最も華やかで、恐らく最も見学する価値がある場所であることは言うまでもないことです！

ジョグジャカルタ市の中に位置するジョグジャカルタ王宮は、ラトゥー王の王宮です。

この宮殿の建築は、スルタン・ハメンクブウォノ一世自身によるもので、1756年10月1日に巨大で壯麗なこの王宮にジョグジャカルタ王国(NGAYOGYAKARTA HADININGRAT / ジョガヨガカルタ・ハディニングラート)を遷移した初代の王でもありました。建造物には一部ヨーロッパ様式の部分がありますが、ジャワの宮殿の代表的建築物です。

ジョグジャカルタ王宮の14,000m²の敷地は、深い哲学的意味を持っており、その建造物、庭園、彫刻、樹木、更にその場所自体も人の生命を表現する重要な象徴で満ち溢れています。

王宮の内側には現在のスルタン、ハメンクブウォノ一世

の父親であるハメンクブウォノIX世に捧げられた博物館があります。ハメンクブウォノIX世は、インドネシアの著名な政治家であり指導者でした。インドネシア共和国の独立に際しての彼の尽力には敬意が払われ、ほとんどすべての市民から感謝されています。

ジョグジャカルタはインドネシアの暫定的首都(1946–1949)でしたが、条例によって州に匹敵する特別州としての地位が与えされました。博物館には、聖なるブサカ(先祖伝来の家財)の金メッキされたコピー、外国の王族からの贈物、ガムラン、王族の馬車および王族の写真と系図が展示されています。

1745年2月17日、バクブウォノII世とその親族は、ジャワで最も長いソロ川の堤に位置する新しいスラカルタ(ソロ)のハディニンラット宮殿に移り住むことになりました。バクブウォノII世とそのすべての親族および従者は、日中、ソロのカルトスロから長い王族の行列をつくって行進しました。

王は専用馬車キヤイ・グルドに乗り、この馬車を高級官吏、隊列、王室馬車がエスコートし、新しい宮殿で使用する先祖伝来の家財とその他の重要な物品を運び込みました。この隊列では神聖なガムラン、バニヤン・ツリー(ガジュマルの木)、馬、象も運ばれ、また、新しい宮殿はかつての宮殿そのままに建設されました。王は、今日から王国の首都はスラカルタ・ハディニンラット(Surakarta Hadiningrat / 雄々しく繁栄する偉大な国)であると宣言しました。

近代世界になると、ボゴール宮殿は、インドネシアに6つ



ボゴール大統領宮殿

ある大統領宮殿の一つになりました。宮殿は独特の建築、歴史、特徴および隣接する植物園で有名です。宮殿は2005年以降、政府の公式行事には使用されていません。ボゴール宮殿は1968年に一般公開されることになり、インドネシアのスハルト大統領の許可を得て、団体観光客(個人は不可)向けに公開されています。年間の訪問者数は約1万人です。宮殿の庭園は面積が284,000m²あります。

ボゴール宮殿の元々の植民地時代の建造物は、英國の統治期を含み、1744年8月にオランダ人統治者の別荘として建造されたバイテンゾルフと呼ばれる邸宅でした。この邸宅を利用した著名人には、ハーマン・ウィレム・ダーンデルスや、スタンボード・ラッフルズ卿などがいます。

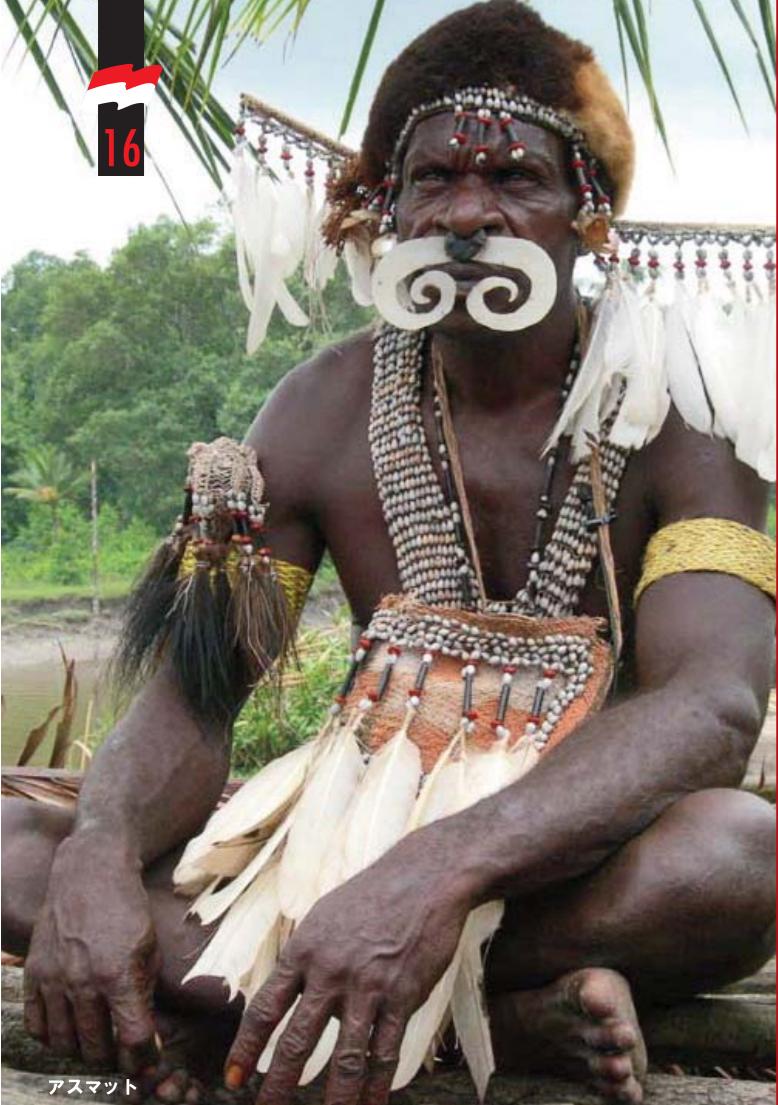
この建造物は、サラック山の噴火が引き金となった1834年の地震で実質的に破壊されました。宮殿は1856年に元のように再建されましたが、このときには地震対策のため本来の3階建てではなく1階建てとなりました。

1870年から1942年にかけてボゴール宮殿は、オランダ人統治者の公邸として利用されました。インドネシアの独立後はスカルノ大統領が使用しましたが、スカルノ大統領が公職にある間、ほとんど手入れが行われませんでした。

宮殿の敷地内にはいくつかの建築物があり、その中でもっとも大きな建築物はメインパレスとその両翼部です。メインパレスには、国家元首の専用事務室、図書室、ダイニングルーム、閣僚会議室、階段講堂および(国賓を歓迎する)ガルーダルームがあります。ボゴール植物園も以前はこの宮殿の敷地の一部でした。

宮殿は、スカルノが収集した膨大なアートコレクションを所蔵しています。一群の白斑のある鹿が、今でもこの宮殿の敷地内で放牧されています。この鹿の群れは、元々、オランダ人が狩るために連れて来たものです。





アスマット

Living Culture

生きている文化

インドネシアには、人々が今でもそれぞれの伝統的な生活様式にしたがっている広大な地域があります。バリの都市化された南部地域から離れると、数百年も昔の生活様式を護っている村を見ることができます。確かに、オートバイや電気や家庭用具などが持ち込まれ、生活は近代化してきていますが、伝統的な儀式と習慣は今でも生きています。

マカッサルから車で約6時間、南スラウェシにはタナ・トラジャ - トラジャ・ランドの、景観に富んだワンダーランドがあります。ここは美しい山岳地帯で、人々は、大抵の場合、死者と墓地に囲まれて、極めて特殊な儀式を行っています。

人が死ぬと、遺体は1年以上自宅で保管され、防腐処理が施され赤色の棺に納められます。葬式の時間になると手の込んだ儀式が行われ、水牛や豚を屠殺して、それから遺体を高い崖の洞窟に埋葬し、その洞窟の

The further you venture from the urbanized south, the more you will see village life being lived as it has for hundreds years.

都市化された南部地域から離れると、数百年も昔の生活様式を護っている村を見ることができます。

入口を護るために彫像が置かれます。

村の魅力は、手の込んだ彫刻が施された美しい家によって整備されています。

ボルネオ島には、インドネシアの幾つかのカリマンタン州がありますが、ダヤク族の人々は、伝統的価値の大半を今でも大事にしています。言うまでもなく、ダヤクの文化の中心は首切りでしたが、この風習はすでに廃れています。その他の伝統は、幾分象徴的になってきています。

都市化の進んだ沿岸都市から内陸側のロングハウスは長さが最大180メートル、幅が18メートルあり、村全体の住民が住んでいます。ダヤク族は彫刻に優れ、羽根と豹の爪で飾られた手の込んだ衣装を作ります。

イリアン・ジャヤあるいはパプアの東側の島には、

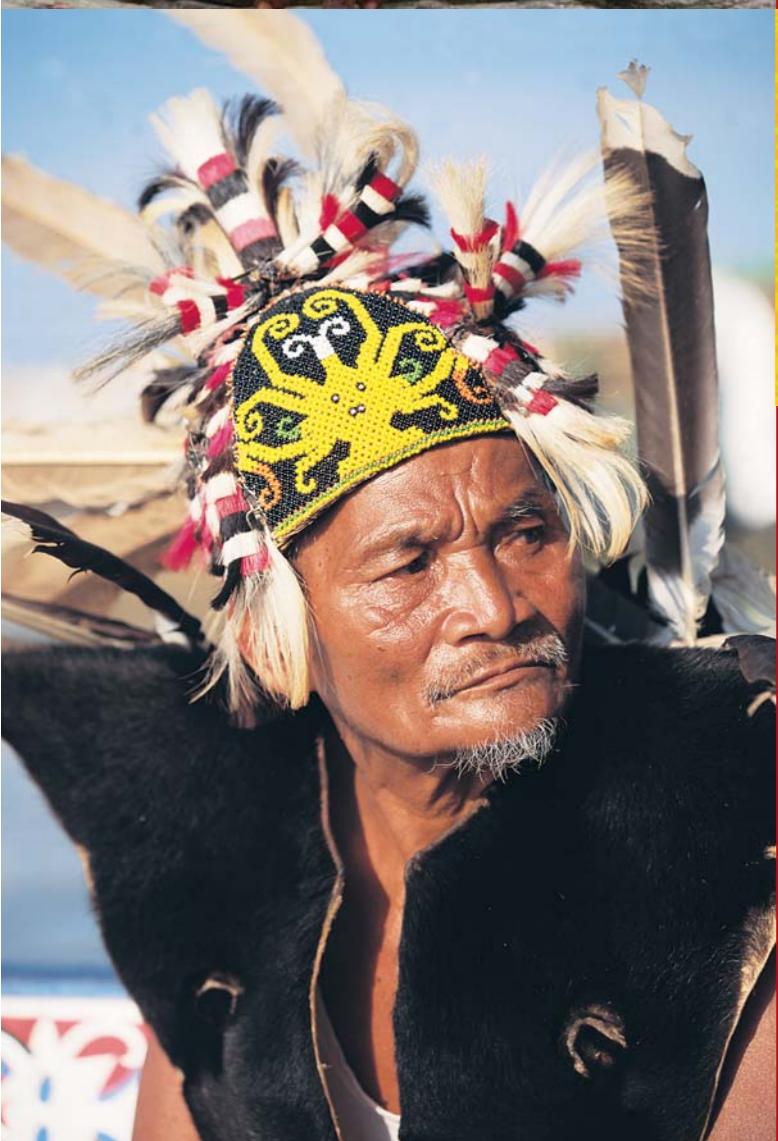
沢山の人々が独創的で目を見張るような文化の中で生きています。

アスマット、「樹木の人々」と呼ばれた彼等の先祖は、昔、神秘的な伝説的人物によって木から創造されたと考えられています。有史以前、彼等は彫刻という創造行為によって秩序を維持していました。傑出した彫刻家は、「神の啓示を受けた者」つまり「ウォウ・ピツ（創造者）」と呼ばれ、植民地時代前に偉大な首狩人と同様に最高の尊敬を受けています。アスマットの彫刻は、特に西側世界を魅了しました。感動的なダイナミズムと表現性が刻み込まれたこれら木のマスターピースは、ニューギニアだけでなく、メラネシア全体の芸術の代表作とみなされています。

戦に使う盾は、アスマットのもっとも力強い芸術表現です。彼等の名前の由来となった祖先は盾のなかに生き、盾に形体を与え、盾を持つ者に無敵と思えるほどのパワーと戦闘力を与えるのです。盾の表面に刻まれ、着色された祖先の力強さと象徴的なデザインの力強さとの組み合わせは、敵を震え上がらせ、敗走させ、あるいは戦意を喪失させて立ちすく



王宮の警護（ジョグジャカルタ）



タナ・トラジャの伝統家屋（スラウェシ）

Art & Festivals

芸術と祭礼

神々の怒りを鎮め、先祖を供養し、豊作を祈念し、あるいは単に村の若者達の勇気を確かめるためであっても、祭礼は伝統的に共同体の暦の頂点に位置付けられています。訪問者にとって祭礼は、完璧な美しさが具体化され、村がもっとも訪問者を歓迎するときとなります。インドネシアでは、世界でもっともドラマチックでカラフルな儀式が行われていますので、暦に印を付けて、これらの驚くべき経験と一緒に体験しましょう！

スンバは、聳え立つ火山や巨大なトカゲ、コモドのドラゴンを含み、数多くの驚くべき特徴があることで知られた小スンダ列島に属しています。スンバについては、オランダの影響は文化的にはごく小さく、スンバのユニークな文化は現在まで生き延びています。その結果、スンバの人々については、首狩族、戦士および奴隸売買人という好ましくない評判しか知られていません。

先祖供養を基本とする精霊信仰は、大半の人々の中に生き続けています。イスラム教も、キリスト教も、この文化的背景を支配することはできませんでした。バリを越えてこの極東地域に踏み込むわずかな冒険者だけが、草葺屋根の家々と大きな峰や巨石墓地のある、目を見張るような伝統的村落を見ることができます。スンバの人々と彼等の祖先とを結び付ける力強い絆の名残はあちこちに見られます。

宗教的儀式は、その大半が動物の生贋をともない、スンバの生活の不可欠な部分を占めています。パソラの祭礼ほど華やかな祭礼は他にはありません。この祭礼は毎年2月と3月に4日間行われます。

パソラは、幾つかの村を代表し、木の槍で武装し馬に跨った12人構成のチームが戦う、極めてリアルな模擬戦争です。騎手はサドルも鎧もつけずに裸馬に跨ります。競技の目的は槍で敵を馬から突き落とすことです。槍は先が細くなっていますが、死を招く危険性があります。「ゲーム」は鮮烈で、参加者にも観客にも同様に危険がともないます。死傷者が出ることもあります。



バリの現代画家

バリ舞踊ダンサー



スンバの騎手

■ 勇壮な豪牛レース(マドゥラ島)

バリのアートフェスティバルは、6月から始まり、1ヶ月間にわたって毎日パフォーマンス、手芸品の展示およびその他の文化と商業活動に関する催しが行われ、その間に、文字どおりバリ全体からダンス、音楽、その他の芸術分野のタレントが紹介されます。2005年度のイベントでは、バリの8県すべての県都でパフォーマンスが計画されていました。メインイベントは、しかしながら、デンパサールに集中しました。遠い山岳地帯の村落の伝統的なパフォーマンスが演じられ、そのうちの幾つかは思い出せないほど古いもので、残りの幾つかはごく最近リバイバルされたものでした。その他に伝統的な宮中ダンス、供物と食物のコンテストおよび有名なバリのスターによるパフォーマンス、映画およびカセットテープの演奏までありました！地元のミュージシャンとダンスの振付師からはバリ以外の、さらにはインドネシア以外の現代アートおよび伝統的アートと組み合わせた、新しい素材が提供されました。

このアートフェスティバルにベストグループを送り込むために、バリの小さな村落、そしてより大きな都市の選考を経て、それぞれの県の代表者となるために激しい競争が行われます。またこのイベントは、年間を通じてデンパサールの最も重要な文化的イベントであり、おそらく国内全体でも第一級のイベントです。そして、この島に襲い掛かった逆境にもかかわらず、バリの村落の文化がいまだに繁栄しているのを確認できる素晴らしい機会でもあるのです。

あまり気づく人はいませんが、この1ヶ月間に及ぶフェスティバルは、バリの文化を維持するのに役立っているだけではありません。

And the few travelers who venture this far east beyond Bali encounter spectacular traditional villages of thatched roof houses with massive peaks and megalithic grave sites.

バリを越えてこの極東地域に踏み込むわずかな冒険者だけが、草葺屋根の家々と大きな峰や巨石墓地のある、目を見張るような伝統的村落を見ることができます。

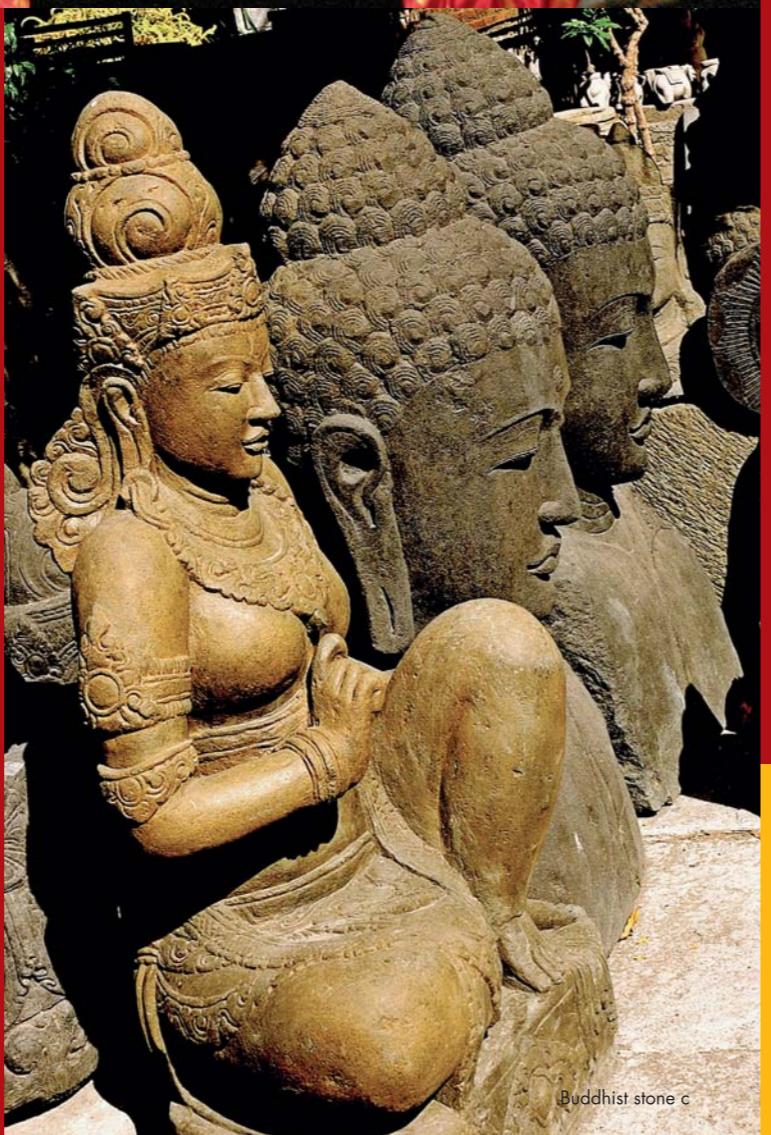


ガムランオーケストラ（バリ）

全ての参加者はバリの文化と伝統に触れることで、自分自身もまるでバリ人になったようで誇らしく思うことでしょう！

「ジョッキー」に拍車を入れられ、たけり狂った雄牛はスタートラインから脱兎のごとく飛び出し、太陽に焼かれたレース場に突入するとフィニッシュラインに向かって駆け出し、約100メートルの距離を8秒ほどで駆け抜けます。群衆は、熱狂し、声を限りに叫びます。

夏の暑さは、暴走する獣とともに高まり、人々は、息詰まるような埃っぽい暑さの中で釘付けになります。熱狂した群衆は不安と大きな期待で騒ぎ出します。これがマドゥーラの猛牛レース、カラパン・サピです。このレースは単なる牛のレースという留まらず、島全体を包み込む熱狂であり、島のもっとも重要な文化的イベントでもあります。もっともユニークな国家遺産です。マドゥーラの猛牛レースは、島の家畜の飼育につき込まれた最良の成果を見ることができますので、10月の第1週の大統領杯で最高潮に達する、1ヶ月にわたる一連のレースには島の全域から人が集まります。勝利者には、多くの人が欲しがる偉大な賞と高い評価が与えられます。



Buddhist stone c

Indonesia Government Tourism Offices

インドネシア各州政府観光局

**Ministry of Culture and Tourism
インドネシア共和国文化観光省**
Gedung Septa Pesona
Jl. Medan Merdeka Barat No. 17
Jakarta 10110
Phone : 62-21.383 8102, 383 8436, 383 8352
Fax : 62-21.385 4558, 386 7589
Website : www.indonesiatourism.go.id,
www.budpar.go.id

バリ（BALI）
Bali Provincial Tourist Office (バリ)
Jl. S. Parman Niti Mandala,
Denpasar 80235
Phone : 62-361. 222 387, 226 313
Fax : 62-361. 226 313

ジャワ（JAVA）
Banten Provincial Tourist Office (バンテン)
Jl. Ayib Usman No. 1, Kaligandu, Serang 42151
Phone : 62-254. 211 333
Fax : 62-254. 200 220

West Java Provincial Tourist Office (西ジャワ)
Jl. RE. Martadinata No.209, Bandung 40411
Phone : 62-22. 727 1385
Fax : 62-22. 727 3209

Jakarta Provincial Tourist Office (ジャカルタ)
Jl Kuningan Barat No.2, Jakarta 12710
Phone : 62-21.527 0917, 526 3922
Fax : 62-21.522 9139
Website : jakarta.go.id

Central Java Provincial Tourist Office
(中部ジャワ)
Jl. Madukoro Blok BB-1D, Semarang
Phone : 62-24.760 7184, 760 8570
Fax : 62-24.760 7182
Website : <http://semarangwasantara.net.id>
Email : tourism@semarangwasantara.net.id

Yogyakarta Tourist Office (ジョグジャカルタ)
Jl. Malioboro56, Yogyakarta
Phone : 62-274.587 486
Fax : 62-274. 565 437

East Java Provincial Tourist Office (東ジャワ)
Jl Wisata Manengga1, Surabaya
Phone : 62-31. 853 1714, 853 1815
Fax : 62-31. 853 1822

スマトラ（SUMATERA）
Nonggroe Aceh Darussalam Provincial Tourist
Office (ナングロエ・アチェ・ダルサラーム)
Jl Tgk. Cik. Kuta Karan No. 03,
Banda Aceh 23121
Phone : 62-651.23 692
Fax : 62-651.33 723

North Sumatra Provincial Tourist Office
(北スマトラ)
Jl Jend. Ahmad Yani No.107, Medan
Phone : 62-61.453 8101, 452 8436
Fax : 62-61. 452 8436
Website : <http://www.pariwisatasumut.go.id>

日本（JAPAN）
Visit Indonesia Tourism Office
日本地区事務所
〒162-0065 東京都新宿区住吉町2-18
ウイン四ツ谷707
Phone : 03 - 5363 - 0158
Fax : 03 - 3353 - 8521
Email : narita@vmc-j.net
Website : www.visitindonesia.jp

West Sumatra Provincial Tourist Office
(西スマトラ)
Jl. Khatib Sulaiman no.7, Padang
Phone : 62-751.55 711, 55 183
Fax : 62-751. 446 282
Website : <http://www.sumbar.id>

Jambi Provincial Tourist Office (ジャンビ)
Jl. KH. Agus Salim, Kota Baru, Jambi 36128
Phone : 62-741.445 054, 445 056
Fax : 62-741.445054

Riau Provincial Tourist Office (リアウ)
Jl. Jend. Sudirman no.200, Pekanbaru
Phone : 62-761. 314 52, 403 56
Fax : 62-761. 314 52

Bengkulu Provincial Tourist Office (ベンクル)
Jl. P. Tendeau No. 17, Bengkulu
Phone : 62-736- 212 72, 342 200
Fax : 62-736- 421 00

South Sumatra Provincial Tourist Office
(南スマトラ)
Jl. Demang Lebar Daun Kav. IX, Palembang
Phone : 62-711. 356 661, 310 026.311 345
Fax : 62-711.311 544

Bangka Belitung Provincial Tourist Office
(バンカ・ブリトゥン)
Jl. Merdeka (ex. Wisma TimahIV)
Pangkal Pinang 33121
Phone : 62-717- 437 705, 437 442 ext 122
Fax : 62-717- 437 442

Lampung Provincial Tourist Office (ランブン)
Jl. Jend. Sudirman No. 29
Bandar Lampung 35127
Phone : 62-711- 261 430
Fax : 62-721- 266 184

カリマンタン（KALIMANTAN）
West Kalimantan Provincial Tourist Office
(西カリマンタン)
Jl. Letjend. Sutyo Km 17, Pontianak
Phone : 62-561- 742 838, 741 445
Fax : 62-561- 739 644

East Kalimantan Provincial Tourist Office
(東カリマンタン)
Jl. Jend. Sudirman 22, Samarinda
Phone : 62-541- 736 860, 747 241
Fax : 62-541- 736 868

South Kalimantan Provincial Tourist Office
(南カリマンタン)
Jl. Pramuka No.4, Banjarmasin 702249
Phone : 62-511- 364 5511, 326 4511
Fax : 62-511- 364 5512

Central Kalimantan Provincial Tourist Office
(中部カリマンタン)
Jl. Tjilik Riwut Km. 5, Palangkaraya 73112
Phone : 62-536- 311 10, 310 07
Fax : 62-536 29377

オーストラリア（AUSTRALIA）
Visit Indonesia Tourism Office
シドニー
Level 5, 68 Alfred Street
Milsons, Point, NSW 2061
Australia
Phone : 02-9959 4277
Fax : 02-9929 4543
Email : ldyer@integra-tm.com.au
Website : www.visit-indonesia.com.au

スラウェシ（SULAWESI）
South Sulawesi Provincial Tourist Office
(南スラウェシ)
Gedung Mulo
Jl. Sudirman No.23, Makassar 90133
Phone : 62-411- 878 912
Fax : 62-411- 812 314
Website : <http://www.phinisi.com>
Email : disbudpar-sulsel@telkom.net

North Sulawesi Provincial Tourist Office
(北スラウェシ)
Jl Diponegoro 111, Manado 95112
Phone : 62-431- 851 723
Fax : 62-431- 852 730

Central Sulawesi Provincial Tourist Office
(中部スラウェシ)
Jl. Dewi Sartika, Palu
Phone : 62-451- 217 95, 268 10
Fax : 62-451- 483 941

South East Sulawesi Provincial Tourist Office
(東南スラウェシ)
Jl. Tebau Nunggu No 2, Kendari
Phone : 62-401. 236 634
Fax : 62-401- 327 435

Gorontalo Provincial Tourist Office (ゴロンタロ)
Jl. KH. Dewantara No. 147, Gorontalo
Phone : 62-435- 822 579
Fax : 62-435- 830 412

マルク（MALUKU）
Maluku Provincial Tourist Office (マルク)
Kantor Gubernur Provinsi Maluku
Jl. Dr. J.B Sifanala, Ambon 97112
Phone : 62-911- 345 336, 352 471
Fax : 62-911- 352 471

North Maluku Provincial Tourist Office (北マルク)
Jl. Kamboja No. 144, Ternate
Phone: 62-921- 326 277, 327 396

ヌサトゥンガラ（NUSA TENGGARA）
West Nusa Tenggara Provincial Tourist Office
(西ヌサ・トゥンガラ)
Jl..Langko 70, Mataram 21868
Phone : 62-370- 634 800
Fax : 62-370- 637 233
Website : <http://entebe.com>
Email : disbudpar@wasantara.net.id

East Nusa Tenggara Provincial Tourist Office
(東ヌサ・トゥンガラ)
Jl. Raya El Tari No. 72, Kupang 85227
Phone : 62-380 821 540, 833 650
Fax : 62-380 821 540
Website : <http://www.promontt.com>
Email : promontt@tefkom.fd

パプア（PAPUA）
Papua Provincial Tourist Office (パプア)
Jl. Raya Kota Raja Pim. Abe Pura, Papua
Phone : 62-967- 583 001
Fax : 62-967- 583 001

中国（CHINA）
Visit Indonesia Tourism Office
広州
27/F Dong Fang Hotel
120 Liu Hua Road, 510016, Guangzhou
Phone : 86-20 61130706
Fax : 86-20 61130708
Website : www.visit-indonesia.cn

北京
Room 701 Inter China Commercial Building No.33
Dengshikou Street, Dongcheng District,
Beijing, PR China
Phone : 86-10 6526 4413
Fax : 86-10 6526 4513